

12/ 4 白河駅前イルミネーション点灯式  
●白河駅前イベント広場 ほか

今年も白河駅前イルミネーション「みんなのヒカリ2020～届け！ 願いの灯よ～」が1月31日(日)まで開催されています。

今年は道場門遺構やコンピエーニュ広場もイルミネーションで飾りました。ぜひ、夜のお散歩をしながら、幻想的な雰囲気を楽しんでみてください。



12/ 1 日本郵便(株)との包括連携協定締結式  
●本庁舎第二応接室

市と日本郵便(株)が同協定を締結しました。この協定はそれぞれが持つ人的・物的資源を有効に活用して、日常の防災、災害発生時の復旧活動、高齢者や子どもの見守り活動、道路破損・不法投棄の情報提供など、地域活性化および住民サービスの向上を図るためのものです。



11/20 岡田美智男先生講演会  
●白一小

豊橋技術科学大学の岡田美智男教授は、はさみと手、ロボットと人、自分と友達の関係は、お互いの苦手な所を補い、得意な所を引き出してあげることができるということをごみ箱ロボットやポケットティッシュ配りロボットのような「ぼんこつロボット」の開発のエピソードを例に楽しく、わかりやすく講演しました。児童たちは、控えめで弱々しいロボットたちの動きに興味津々の様子でした。



12/ 3 災害時における職員の相互応援に関する協定締結式  
●白河地方広域市町村圏整備組合(立石)

白河市・西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町の西白河5市町村が同協定を締結しました。この協定は災害が発生し、独自では十分に被災者の救援などの応急措置ができない場合に、互いに職員を派遣するなどの応援を円滑に遂行するためのものです。



11/29 第2回芭蕉白河の関俳句賞 表彰式・当日投句会  
●コミネス小ホール

同賞は、松尾芭蕉の『おくのほそ道』から330周年を記念して、昨年創設されました。第2回目となる今回は、国内では「源義経・源義家」、海外では「みちのく」をテーマとして作品の募集を行いました。

その結果、4,134句(うち海外作品157句)の応募があり、大賞ほか受賞作品が決定し、コミネス小ホールで表彰式を開催しました。

また、当日投句会も同時開催し、寄せられた俳句を選者がその場で選句・選評を行い、秀句には白河の地場産品が贈られました。



**受賞作品発表!**  
たくさんのご応募ありがとうございました。  
このほか受賞作品は市ホームページをご覧ください。

**大賞**  
鈴木太郎選

一般の部  
旗立の奥は日照雨の草紅葉  
福島市 酒井秀子

一般の部(海外特別賞)  
白河の関や甥住む街涼し  
ブラジル パラ州 三宅昭子

一般の部  
幌掛けの楓蛇身を隠しをり  
矢吹町 藤田光徳

一般の部(海外特別賞)  
みちのくへたんば翔ばす移民妻  
ブラジル サンパウロ州 織田真由美

ジュニアの部  
そう式の帰りがやく蜜かな  
三春町 沢石小学校5年 井堀那月

神野紗希選

佐怒賀直美選